

## 組織目標評価報告書（令和3年度）

部局名：

情報統括センター

部局長名：

村上昌己

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	教育領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>①全学の情報リテラシー教育と情報セキュリティ教育の質向上に取り組む。</p> <p>②教育におけるICT環境を更に充実させ、オンライン授業などを含む円滑な教育へのICT活用を支援する。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 90-1</p> <p>①情報処理入門1～3の講義を行い、全新生を対象として情報リテラシー教育を実施した。特に近年重視されている情報セキュリティ対応能力の向上を図った。情報セキュリティe-Learning、自己点検を実施するとともに、役員・部局長向けのセキュリティセミナーを開催した。</p> <p>②新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての遠隔授業をスムーズに実施するため、新生向けに本学の基本的な情報サービス等のマニュアルを作成し、Microsoft Office365を利用した遠隔授業の実施のためのマニュアル作成やアカウントの整理等の支援を行った。</p> <p>オンライン授業への接続環境として安定した無線LAN環境を提供するために、学務部と連携して約250台の無線アクセスポイントの調達を行い、講義室を中心に増設・更新を行った。また、無線LANへの接続性を高めるために、令和4年3月から新しい認証方式に対応した無線LANサービスの提供を開始した。</p> <p>さらに、大学全体のネットワーク基盤を安定化させるため、全キャンパスの建物を対象に、ネットワークスイッチ及び無線アクセスポイントを一括更新する計画に着手した。令和6年4月運用開始に向けて、令和4年度に仕様策定を行い、令和5年度に調達を行う予定で財務部と連携して準備を進めている。</p> <p>なお、教育・研究支援情報システムの更新において、オンライン授業形態の幅を広げるために、学生所有のパソコンで学内外から授業用仮想パソコンへリモート接続できるシステム及び、授業担当教員がオンライン授業中の学生パソコンの画面を巡視できるシステムを新たに調達した。令和4年度中の運用開始に向けて構築を進めている。</p>
<b>②研究領域</b>	研究領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>①情報統括センター業務に関連する研究を推進する。</p> <p>②科研費等、外部資金への応募を促進する。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 特になし</p> <p>②科研費 1件、その他 0件</p>
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の実施状況及び新たに生じた課題等
<p>①放送大学岡山学習センター等の非常勤講師を務めることにより地域貢献する。</p> <p>②大学共同利用機関法人等の委員を務めることにより社会貢献する。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 特になし</p> <p>①講義数:1 15時間(実時間675分)</p> <p>②国立情報学研究所:学術認証運営委員会運用作業部会委員 大学ICT推進協議会:認証基盤部会運営委員</p>
<b>⑤センター・機構等業務</b>	センター・機構等業務における目標の達成状況
<p>①オンライン授業など多様な学修ニーズと教育のグローバル化に対応し、学術情報・設備・環境を活用した学修・教育体制を強化する。</p> <p>②教育研究活動を支援するため、災害時の業務継続も考慮した安全安心なICT基盤サービス及びネットワーク基盤を提供する。</p> <p>③テレワークなどの実施時においても情報セキュリティを確保するため、情報セキュリティ対策への取組を継続する。</p> <p>④学内外のデータを収集し、分析を行うIR/IE室の機能強化を支援する。同時に学内のDX推進を基盤面から支援する。</p>	<p>目標に関連する年度計画の番号 14-2 45-1 90-1</p> <p>①オンライン授業への接続環境として安定した無線LAN環境を提供するために、学務部と連携して約250台の無線アクセスポイントの調達を行い、講義室を中心に増設・更新を行った。また、無線LANへの接続性を高めるために、令和4年3月から新しい認証方式に対応した無線LANサービスの提供を開始した。さらに、大学全体のネットワーク環境を安定化させるため、全キャンパスの建物を対象にネットワークスイッチ及び無線アクセスポイントを一括更新する計画に着手した。令和6年4月運用開始に向けて、令和4年度に仕様策定を行い、令和5年度に調達を行う予定で財務部と連携して準備を進めている。</p> <p>②教育・研究支援情報システムの更新に伴い、本学被災時にも業務継続が可能となるために、認証基盤やその他のサーバ、データ等を学外のデータセンター及びクラウドサービスへ移行する構成で調達し、令和4年度中の運用開始に向けて構築を進めている。</p> <p>③情報セキュリティポリシーの見直しを行った。「情報セキュリティ対策の実施体制の整備」「情報及び情報システム・サービスに対する保護・管理・運用」「インシデントへの対処」「啓発及び教育」の4つの観点からセキュリティ対策要件を整理し、ポリシーを規程、要項、手順、ガイドラインに体系化、規程化した。</p> <p>学外に公開しているグローバルIPアドレスを持つ機器等に対して、7月に脆弱性検査(脆弱性スキャン、ポートスキャン、運用状況調査)を実施した。5台の機器から6つの重大な脆弱性が検出されたが、9月末までにすべての修正が完了した。</p> <p>7～9月にかけて情報セキュリティe-Learningを実施した。今年度は、インシデント公表時のURLや具体的な画像等を用いた問題の出題や「教育」と「自己点検」の区別を明確にするなどの改善を行った。未受講者に対して、メールにより受講の呼びかけを行うとともに、情報セキュリティ管理責任者である部局長等からも受講を促してもらうように協力を依頼した結果、受講率はほぼ100%であった。</p> <p>加えて、情報セキュリティe-Learningにて学生・教職員に対して実施した自己点検については、点検結果をCISOが分析・評価し、評価結果を各部局等に通知した。</p> <p>CISOが情報セキュリティ監査責任者として情報統括センター長を指名し、法人監査室を含めた本学の情報セキュリティ監査体制を構築した。7・8月に全部局等に対して、書面による情報セキュリティ監査を実施するとともに、10月には、書面監査の結果を基に選定した4部局に対して実地監査をした。監査結果については、12月開催の部局連絡会において周知した。</p> <p>11月に先端技術情報を始めとする機微情報の保有状況調査を実施し、機微情報として報告のあった21件の情報の存在を確認した。</p> <p>2月16日に役員・部局長等を対象とした情報セキュリティセミナーを実施した。</p> <p>令和4年度に稼働開始の教育・研究支援情報システムの調達において、学内外への不正なネットワーク通信を行う端末を検知して自動で遮断することで、セキュリティインシデントの発生を未然に抑止するシステムを新たに導入することとした。</p> <p>④IR/IE室の室員として統合報告書の作成についての検討を行った。学内のDX推進を基盤面から支援するため、共通IDデータベース構築及びDX開発プラットフォーム構築について仕様作成及び構築を行うとともに、DX開発プラットフォーム上に構築したTA・RA申請ワークフローの構築のためワーキングに参加し、構築を行った。</p>